

# 修士論文作成上の注意点

以下では、修士論文作成の上での注意点を説明します。

全体的なことについては、ハンドブックを参照してください。ハンドブックに書いてあるように、注・参考文献の表記については『経済科学』執筆要項に従うこととなっています。

なお、以下は原則です。個別に対応が必要な場合は指導教員に相談すること。

## 1 節 内容上の注意事項

- 1 他の論文からのコピー・ペーストは一切禁止。（図表も）
- 2 自分が言葉で指導教員に説明できない文や式は論文から削除すること。
- 3 ベースとする既存文献に基づいて、分析を行う。（変数の選択や分析手法）
- 4 出所を明らかにできないデータは用いない。データの出所を必ず明らかにする。
- 5 ベースとする論文の選択は、指導教員と相談して決める。（ベースとするのに適当ではない論文があるため）
- 6 変数名は論文の中で統一すること。

## 2 節 形式上の注意事項

- 1 字数制限 日本語(40字×30行), 英語(ダブルスペース 28行)
- 2 枚数制限 日本語(16～24枚), 英語(30～40枚) 原則
- 3 片面印刷 (作成中は両面でもよい)
- 4 ページ番号を付ける
- 5 タイトルページ: 論文のタイトル, 氏名, Abstract (要旨)  
題目名は大きいフォント  
指導教員名 (最終版のみ)
- 6 構成: 各節に見出しをつける。見出しは太字, 大きめフォントサイズ

### 例1

- 1 節 はじめに
- 2 節 分析方法とデータ
- 3 節 分析結果
  - 3.1 節 記述統計
  - 3.2 節 回帰分析
- 4 節 結論

(※ 3.1節など、節(section)の下位分類を小節(subsection)という。)

### 例2

1. Introductoin
2. Data and Methodology
3. Analyses
  - 3.1 Summary statistics
  - 3.2 Regression results
4. Conclusion

## 7 表記法

- フォント： 日本語（明朝体 11pt），英語（Times New Roman 11pt）  
句読点： 日本語（カンマ（，）と句点（。）），英語（カンマ（，）とピリオド（.））  
引用文： 日本語（かぎ括弧「 」または『 』），英語（“ ”）  
段落： 日本語（行頭は1字下げ）、英語（5字下げる）  
段落間： 空ける必要はない  
節間（小節間）： 2行空ける

## 8 図表

- 通し番号をつける（図と表は別々の通し番号）  
タイトルをつける（何の図表なのかが分かるようにする）  
注をつける（出所や変数の定義など、\*の説明）  
各図表はフォントや形式を論文の中で統一する  
図表はページをまたがないように配置する（1ページに1図表でもよい）  
図表は本文中でもよいが、論文の最後にまとめて掲載してもよい  
（論文作成中は、配置がよく動くので論文末にまとめたほうが無難）  
本文中に図表を配置するときは、上下を2行ずつ空ける  
数値の桁数を論文全体で揃える（原則） 例 小数点以下3桁 3.142 （四捨五入）

（例）

となっている。

**表 1： 記述統計**

	変数 1	変数2	変数3
平均			
標準偏差			
観測値数			

（注） 出所：財務省。変数 1 は ○○/△△と定義される。

次に、

（※ は実際には表記しません）

（見出しの例）

図 1、表 1、Figure 1、Table 1

## 9 本文中の「注」の書き方

- 注は、論文末にまとめて列記し、引用頁を記載のうえ、本文中の当該箇所の上肩に通し番号をうつ。注番号には片側パーレン（例えば 1）， 2）のように）をつける。

(例)

(本文)

かつてウエイク<sup>1)</sup>がするどく主張したように、伝統的な組織論<sup>2)</sup>では……………

(論文末)

注

1) Weick, K.E.(1979), pp.10-15.

2) ここでいう伝統的な組織論とは、通常のカテゴリとは異なり……………。

## 10 文献の引用の仕方

他の文献の文章を引用する場合は必ず引用先を明記する

他の文献の文章を引用しない場合でも、参考とすべき文献がある場合は引用先を明記する

(引用例1) 本文中で (著者 年次, ページ) とする方法

有名なコースの問題, すなわち「分業化された交換経済において, そもそも企業が現出し  
てくるのはなぜであろうか」(Coase 1937, p. 355)

(引用例2)

Coase (1937, p. 355)は「分業化された交換経済において, そもそも企業が現出し  
てくるのはなぜであろうか」と述べている。

(引用例3) 脚注に引用先を記述する場合

(本文)

有名なコースの問題<sup>1)</sup>とは。。。

(論文末)

1) Coase (1937, p. 355)を参照。

(引用例4) 複数の著者の文献の引用の仕方

Basak and Shapiro (2001)は, , , ,

Kashyap, Rajan, and Stein (2002)は, , , ,

Kashyap et al. (2002)は, , , ,

## 11 参考文献リストの作成の仕方

参考文献リストは論文末につける (注のページの後、図表の前)

参考文献 と 太字で見出しをつける

日本語文献と英語文献は分ける

著者名 (第一著者の姓family name) で並べる

日本語は五十音順, 英語はアルファベット順

同じ著者の複数の文献は年代順 (古いものが上) に並べる

英文の場合、著者名は 姓, 名 のように記述する 例 Smith, Adam

英文の場合、first nameはイニシャルだけでもよい 例 Smith, A.

英文の場合、middle nameは省略してもよい

(記載の仕方)

#### 参考文献が日本語の場合

- \*単著 著者名 (発行年) 『書名』 出版社名, 参考頁。
- \*共著 編者名 (編) (発行年) 『書名』 出版社名, 参考頁。
- \*論文 著者名 (発行年) 「論文名」 『論文掲載誌名』 論文掲載巻号, 論文掲載頁。

※ 書名, 論文掲載頁は 1-10 頁のように表記すること。

#### 参考文献が英語の場合

- \*単著 著者名 (発行年), 書名, 出版社名, 参考頁.
- \*共著 編者名 (編) (発行年), 書名, 出版社名, 参考頁.
- \*論文 著者名 (発行年), “論文名,” 論文掲載誌名, Vol. ■, No. ■, 論文掲載頁.

(例)

Diamond, Peter (1965), “National debt in a neoclassical growth model,” *American Economic Review*, Vol.55, No.5, pp.1126-1150.

Usher, Abbott Payson (1943), “*The Early History of Deposit Banking in Mediterranean Europe*” (Harvard University Press, Cambridge, MA).

デービッド・G・ルーエンバーガー (2002) 今野浩・鈴木賢一・枇々木規雄訳『金融工学入門』, 日本経済新聞社。

厚生労働省 「国民年金及び厚生年金に係る財政の現況及び見通し (詳細結果) 平成 26 年財政検証詳細結果 (財政見通し等)」, 2014 年 6 月 3 日。

注: なお、上記で用いた例の一部は『経済科学執筆要項』による。

以上  
次頁チェックリスト

## セルフ・チェックリスト

※以下の☑を修論完成までの間、毎行行ってください。

氏名 実施日 年 月 日

<input type="checkbox"/> 字数制限 範囲内である
<input type="checkbox"/> 枚数制限 範囲内である
<input type="checkbox"/> ページ番号をつけた
<input type="checkbox"/> タイトルページ 題目をつけた
<input type="checkbox"/> タイトルページ 氏名をつけた
<input type="checkbox"/> タイトルページ 指導教員名をつけた
<input type="checkbox"/> 各節（小節）の見出しをつけた
<input type="checkbox"/> 各節（小節）の番号の整合性（正しい順序であることを確認した）
<input type="checkbox"/> 本文のフォント 大きさ
<input type="checkbox"/> 句読点の統一
<input type="checkbox"/> 引用文に 「 」 “ ” をつけた
<input type="checkbox"/> 図表 通し番号 順番 確認した
<input type="checkbox"/> 図表 タイトルをつけた
<input type="checkbox"/> 図表 フォント・形式が統一されている
<input type="checkbox"/> 図表 ページをまたいでいない
<input type="checkbox"/> 図表 数値の桁数 統一
<input type="checkbox"/> 図表 出所をつけた
<input type="checkbox"/> 図表 注をつけた
<input type="checkbox"/> 本文 注の通し番号の順序を確認した
<input type="checkbox"/> 本文 引用の仕方を確認した
<input type="checkbox"/> 参考文献リスト 並び順を確認した
<input type="checkbox"/> 参考文献リスト 引用している文献は全てリストにある
<input type="checkbox"/> 参考文献リスト 引用していない文献がリストに載っていない
<input type="checkbox"/> 論文の内容にコピー・ペーストはない
前回の指摘について、 ( ほぼ全部できた、 半分ぐらい、 ほとんどできていない)
論文の進捗具合について、自分では ( 予定通り、 やや遅れている、 かなり遅れている)